

世界遺産推薦に係る諮問機関の勧告に対する文化庁長官談話

我が国が誇るべき遺産である「富士山」が、世界遺産委員会に対して専門的な立場から勧告を行う諮問機関（イコモス）から世界遺産としてふさわしい旨の評価を受けられたことは、大変喜ばしいことである。なお、構成資産の一部である「三保松原」について、十分な理解が得られていないことについては、残念である。

また、「鎌倉」の評価については、大変残念に受け止めている。

今回これらの評価を受けた理由について直ちに関係者で分析を行った上で、関係省庁及び関係自治体と協議しつつ、6月の世界遺産委員会に向け、対応を検討してまいりたい。